

令和2年度 県立水戸南高等学校 (通信制) 自己評価表

目指す学校像	「生徒一人一人のニーズ・スタイルを尊重し、学校本来の大切さを日々感じる学校」			
	単位制で作る自分の時間割、生活スタイルで選べる3つの課程、たくさんの教員による手厚い指導体制を生かしたセルフビルドの学習を実現する。JR水戸駅から徒歩圏内の利便性と、緑に囲まれた閑静な環境を生かして、持続可能な心豊かな学びを実現する。			
昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標	達成状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の丁寧な添削指導や生徒一人一人に寄り添った指導を行った成果により単位修得率が向上した。 ・学校行事や生徒会主催行事は生徒の自主的な活動と全職員の協力により教育的効果を上げることができた。今後は参加率の向上が課題である。 ・県内唯一の通信制設置の県立高校として地域への広報活動を広げたが、さらなる周知が必要である。 	学習指導のさらなる充実	<ul style="list-style-type: none"> ・自己管理能力を育み自学自習の習慣を身につかせるような、丁寧で的確な添削指導を行う。 ・ICT機器を活用したスクーリングの取組を推進する。 		
	生徒の社会性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の個性に合わせた多様な学校行事が企画されており、多くの生徒の参加を促し他の生徒と交流を深めることで社会性を育成する。 ・外部機関が主催する行事や大会への参加を促し、コミュニケーション能力の向上を図る。 		
	保護者、家庭との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回発行する「南通信」を通して、通信制課程の教育活動や学習の取組方法を周知する。 ・「学校ホームページ」「メール配信」などで、随時情報発信を行い保護者、家庭との連携を強化する。 		
	教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・「全国通信制教育研究会」の関東地区研究協議会や研修会の参加を促し、通信制教育の意義や各校の指導方法を学ぶ。 ・先進校の取組を紹介する校内研修を行い、ICT機器の活用などより充実した指導方法を学ぶ。 		
	学校運営の効率化 (働き方改革)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育情報ネットワーク「電子会議室」等を利用し、会議等を効率的に行うなど働き方改革を進める。 ・PDCAサイクルを確立し、教員業務の見直しと業務改善の推進を図る。 		
	広報活動のさらなる充実 (地域との連携強化)	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等の情報発信機能を充実させ、県立高校通信制としての教育活動を広く地域に周知する。 ・中学校、高等学校への情報提供を積極的に行い、「学びのセーフティーネット」としての役割を周知する。 ・学業継続を希望する生徒を広く受け入れるため、就業者など地域の方々にも広く周知する。 		
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語運用能力を高めることでより豊かな社会性を身に付けさせる。 ・古典の鑑賞を通して人生観や世界観を広げさせる。 ・小説や評論の読解を通して思考力と共感力を高め、情操を豊かにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正確な日本語を用い、文意が通ずる文章を作成できるように、スクーリングを通して指導する。 ・教材の読解を深めるための語彙力を養うために、レポートのさらなる改善を図る。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・作文や読書感想文などの創作活動を通して自己の内面を探り、自分自身と向かい合うことで、自己実現への契機となるよう、きめ細かな添削指導をする。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・レポートにおいて定期的且つ継続的な漢字指導を行う。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・常識的な国語の知識をレポートとスクーリングを通して身に付けさせる。 		
地歴	<ul style="list-style-type: none"> ・激しく変動する世界を正しく公平に理解させることに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクーリング終了時に、指導内容を点検・改善し、次のスクーリングに生かす。 ・生徒一人一人の能力・実態に合わせた指導を行う。視聴覚教材等の効果的な利用を図る。 ・激しく変動する世界にあって、さまざまな情報源から、生きた世界の姿を正しく理解させるとともに、公平な立場で世界の諸問題を見つめられる教養を育てる。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・スクーリング終了時に、指導内容を点検・改善し、次のスクーリングに生かす。 ・生徒一人一人の能力・実態に合わせた指導を行う。視聴覚教材等の効果的な利用を図る。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・激しく変動する世界に対応するため、あらゆるメディアを利用して、現代社会の姿を正しく理解させると共に、グローバルな視野に立って、公平な立場で世界の諸問題を見つめられる心と教養を育てる。 		
公民	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の社会をよく見つめ、正しく公平に理解させることに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクーリング終了時に、指導内容を点検・改善し、次のスクーリングに生かす。 ・生徒一人一人の能力・実態に合わせた指導を行う。視聴覚教材等の効果的な利用を図る。 ・激しく変動する世界に対応するため、あらゆるメディアを利用して、現代社会の姿を正しく理解させると共に、グローバルな視野に立って、公平な立場で世界の諸問題を見つめられる心と教養を育てる。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・基礎事項の理解に重点を置いた分かり易いレポートとなるよう、更なる改善を図る。 ・基礎事項の理解に重点を置いた丁寧なレポート添削を行う。 ・自学自習でレポート作成ができるようにするために、面接(スクーリング)および補助資料をより充実させる。 ・必修修科目(数学Ⅰ)の単位修得者数を向上させるべく、生徒各人に必要な声かけやアドバイスを実施する。 ・新指導要領への移行を鑑み、生徒の実態に合わせた教育課程の改訂を検討する。 		
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着を図る。 ・分かる喜びをより多く実感できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎事項の理解に重点を置いた分かり易いレポートとなるよう、更なる改善を図る。 ・基礎事項の理解に重点を置いた丁寧なレポート添削を行う。 ・自学自習でレポート作成ができるようにするために、面接(スクーリング)および補助資料をより充実させる。 ・必修修科目(数学Ⅰ)の単位修得者数を向上させるべく、生徒各人に必要な声かけやアドバイスを実施する。 ・新指導要領への移行を鑑み、生徒の実態に合わせた教育課程の改訂を検討する。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・基礎事項の理解に重点を置いた丁寧なレポート添削を行う。 ・自学自習でレポート作成ができるようにするために、面接(スクーリング)および補助資料をより充実させる。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・必修修科目(数学Ⅰ)の単位修得者数を向上させるべく、生徒各人に必要な声かけやアドバイスを実施する。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・新指導要領への移行を鑑み、生徒の実態に合わせた教育課程の改訂を検討する。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・新指導要領への移行を鑑み、生徒の実態に合わせた教育課程の改訂を検討する。 		

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・実験や実習・観察などを通して、理科のおもしろさを実感させ、興味・関心をもって学べるように努める。 ・自宅学習を充実させ、基礎的知識を定着させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察の機会を増やし、実物や現象に直接ふれることができるように努める。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・理科を楽しみながら学べるように、実験や実習について、さらに工夫・改善に努める。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚教材やプリントなどの利用やICTの活用により、生徒が理解しやすいように、興味を持ってスクーリングに臨めるように努める。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人に応じたレポート添削指導やサポートの方法について改善に努める。 ・自学自習のためのレポートの工夫・改善に努める。 		
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の実践を通して、計画的に運動を楽しむ習慣を育て、生涯体育の基礎を養う。 ・健康や安全の理解を深めるとともに、健康を高める能力や態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の運動の合理的な実践を通して、一人ひとりの身体能力や個性を尊重した指導を行い、思考力・判断力・表現力を養い、生涯を通じて運動に親しめる能力や態度を養う。スクーリングでのICTを活用し生徒の興味関心をうながす。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・レポート添削を中心とした学習において、運動や健康・安全についての知識及び理解を深めさせ、学びに向かう力、人間性等が高まるよう、主体的・対話的で深い学びができる能力や態度を養う。インターネットなどを利用したレポートの作成に関する注意点などを指導する。 		
芸術	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術各科の基礎知識、用具等の扱いを習得させる。 ・創作の喜びや鑑賞の楽しみを実感し、生涯にわたって芸術に親しむ心情を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクーリングは、各種道具や表現方法などを説明し、実技指導を工夫する。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・レポートは、生徒が主体的に取り組める内容を厳選し、個に応じた添削指導に努める。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・テストは、スクーリングやレポート内容を反映させるものとし、個に応じて支援する。 		
英語	<ul style="list-style-type: none"> ・音声指導を行い、使える英語を身に付けさせる。 ・レポート作成に参考になる指導をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単語や英文を声に出して読ませる。実生活にどれだけ英語が浸透しているかを認識させ、簡単な英語を使えるようにする。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・スクーリングにおいて、レポートの内容について指導する。 		
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的、基本的な知識・技術を習得させる。 ・家庭生活の重要性を実感させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・きめ細やかなレポート添削を行う。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒ひとりひとりの技術に応じた実技指導を実施する。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ICT機器を積極的に使い、視覚的に授業時間や内容を提示することで、授業への理解度を高める。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・ホームプロジェクトを通して、生活者としての自立を目指す学習を充実する。 ・実験・実習の体験を通して日常生活をよりよくしていこうとする意欲を高める。 		
商業	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス教育における基礎的・基本的な知識・技能の習得の向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート内容を精選し、配分を工夫する。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・スクーリングの内容および補助プリントを充実する。ICT教育も活用する。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた添削指導に努める。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得やビジネススキルアップを支援する。 		
情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク、端末、コンテンツ等を利用できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な用語を学習する。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・簡単パソコン操作ができるようにする。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・スマートホンの利便性と危険性の情報モラルに関して指導する。 		
教務	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人がそれぞれの目標を達成できるよう学校の運営に取り組む。 ・生徒が自分の進路に応じた学習計画を立て、前向きな姿勢で学習に取り組めるようにする。 ・各部・委員会等との連携を図り、円滑な学校運営に努め 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットなどを利用した情報提供の在り方について研修を図る。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・時間割を工夫し、生徒が効率よくスクーリングに出席できるようにする。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・試験の実施方法やその時期を検討し、無理なく受験できる環境を整え、合格率の向上を目指す。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領についての研修を深め、学校の特色にあった教育課程の編成に取り組む。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の希望が十分に反映された科目履修が実現できるような履修指導の時期や方法を考案する。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・支援システムの機能の見直しと強化を進め、事務処理の効率化を図る。 ・学習指導部と連携して、レポート提出率及び単位修得率の向上を図る。 		

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力を定着させ、単位修得率を向上させる。 自学自習の支援を図る。 生徒の進路目標の達成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 教具・教材などの学習環境の整備と充実に努める。レポート改善を促進する。 		
		<ul style="list-style-type: none"> 生徒に「南通信」の有効活用を促すとともに、内容の充実に努める。 		
		<ul style="list-style-type: none"> NHK高校講座の視聴を奨励し、自学自習の習慣化を定着させ単位修得率向上を図る。 		
		<ul style="list-style-type: none"> 図書内容の充実と利用の促進を図る。 		
		<ul style="list-style-type: none"> 担任を中心に個々の生徒の進路相談を充実させるために、進路関係の情報収集、提供に努める。 		
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 校内全面禁煙の徹底を図る。 公共マナーの向上と社会的規範の遵守を図る。 思いやりのある心の育成を図る。 本校の「いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの防止に努め、実態把握およびいじめに対する措置を適切に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 全学年の先生の協力を得て、スクーリングの巡回指導、校内放送等により、喫煙を減らしていく。 		
		<ul style="list-style-type: none"> HR等を利用し、薬物の危険性、有害情報の提供、交通マナーなどを随時指導していく。 		
		<ul style="list-style-type: none"> 他人が受ける心の痛みが理解するとともに、自主性のある行動がとれるよう指導していく。 		
		<ul style="list-style-type: none"> 多くの行事を通じて、豊かな人間性の育成を図る。 		
		<ul style="list-style-type: none"> 生徒の自己有用感等を高め、生徒から相談しやすい関係を構築し未然防止に努める。 保護者から相談しやすい関係を構築するとともに、いじめの早期発見に努める。 いじめ発生の際には、被害者の心のケアや加害者への指導を適切に行い早期解消に努める。 保護者と密接に連絡を取るとともに、必要に応じて関係機関と連携して対応する。 情報モラルやいじめについての事例研究や校内研修などの教職員研修を適切に行う。 		
保健	<ul style="list-style-type: none"> 心身の健康と自己管理能力の育成を図る。 環境美化の定着を図る。 健康・安全に対する知識の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> スクーリング時のHRや「水戸南通信」を通して生徒の健康維持・安全衛生面についての意識高揚に努める。 健康診断をより多くの生徒に受診させることにより、健康管理の必要性について理解させる。 深刻な持病や精神面で支障のある生徒については、関係職員(学校医やスクールカウンセラー)の共通理解のもとに指導に当たる。 スクーリング時に、3才以上の幼児を持つ生徒の援助として託児を実施する。 		
		<ul style="list-style-type: none"> スクーリング時の清掃などを通して、公共の場における美化意識の向上を図る。 		
		<ul style="list-style-type: none"> HRや「水戸南通信」を通し、校内における緊急時の対応が出来るよう啓発する。 		
		<ul style="list-style-type: none"> 災害時の遠方からの通学者に配慮できるよう備蓄等を検討する。 		
渉外	<ul style="list-style-type: none"> 生徒募集のための広報活動を充実させる。 同窓会活動の維持に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校案内パンフレット、ポスター等の内容をより充実させるために工夫・努力する。 		
		<ul style="list-style-type: none"> 市町村訪問を効果的に実施することによって来年度の生徒募集の広報活動を図る。 		
		<ul style="list-style-type: none"> 通信制同窓会の活動の維持に努める。 		
		<ul style="list-style-type: none"> 定通教育振興会の運営の活発化に努める。 		
第1年次	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣と学習態度の確立 学習への自発的な喚起を促す指導 多様な生徒への指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 公共の場において高校生としてふさわしい行動がとれるよう指導する。 		
		<ul style="list-style-type: none"> 各生徒の個性に対応した個別指導と学習への興味を喚起させる指導により、スクーリングの出席率並びにレポートの提出率の向上を目指す。 		
		<ul style="list-style-type: none"> 新卒生徒の中でも特に問題行動のある生徒、不登校の傾向にある生徒、全日制高校を中途退学した生徒などの理解に努め、適切な対応を心がける。 		

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度への主な課題
第2年次	・個別指導の拡充による単位修得率の向上	・個々の昨年度の学習状況等を踏まえ、適切な助言により、レポート提出率、スクーリング出席率を向上させ、延いては単位修得率の向上を目指す。		
	・生徒一人ひとりの生活環境に応じた生徒理解	・問題を抱える生徒や学習活動が不活発な生徒について、情報を収集し、生徒理解に努めるとともに、関係する分掌・委員会と連携を図り、適切な対応を心掛ける。		
	・スクーリング時における学習環境の適正化	・校内巡視や生徒への声掛け等により、問題行動発生の防止に努める。		
第3年次	・機能的生徒理解の充実	・問題を抱えている生徒については、学年全体で情報等を共有し、各部署と連携・協力しながら学年全体で対処する。		
	・学習のより一層の定着化	・スクーリング出席率・レポート提出率の向上を目指し、単位修得数を上げる。		
	・修学旅行の成功	・修学旅行成功に向けて、学年全体で協力して推し進める。		
	・進路目標の実現	・進路相談に努め、生徒の進路実現を支援する。		
第4年次	・昨年度を踏まえた指導によるさらなる単位修得率の向上。	・履修計画を工夫し、単位を修得しやすくする。 ・昨年度軌道に乗り出した生徒には、その意欲を失わないよう配慮を加える。 ・単位未修得者に対しても諦めることなく接し、意欲が出るのを待つ。		
	・生徒個々をよく観察し、自発的行動を引き出す。	・生徒個々をよく観察しコミュニケーションを大切に、生徒との距離を大切に保ちながら働きかけ、自発的行動を待ち、学習・卒業等への意欲を引き出す。		
	・生徒個々に合わせた進路指導の充実	・生徒の進路希望に合わせて適切な助言を行い、生徒の自己実現を図る。 ・進路指導担当と緊密に連携して資料や情報の提供に努める。		

※評価基準:A:十分達成できているB:達成できているC:概ね達成できているD:不十分であるE:出来ていない